

# 青果物の流通費用に関する調査研究 IV

松田 延一

## A Survey of Research Studies concerning the Cost of Distribution and Sale of Vegetables and Fruits. IV

by

Nobukazu MATSUDA

### は し が き

本稿は昭和46年の秋野菜，果物の名古屋市場における流通費用の調査結果の概要である。この研究の目的は第Ⅲ報に述べるように，昭和45年度以来の調査結果との比較，追認とその間に存在する問題を究明しようとするものである。このために，調査品目も前回のものに，ぶどう（デラ）を加えたほかは，全く同じものを取りあげ，調査方法も全く同じである。

### 調査対象，調査時期，調査方法

調査対象は第Ⅱ報にあげた品目に，ぶどうを加えた。すなわち秋期のだいこん，にんじん，はくさい，キャベツ，さつまいも，みかん，りんご（スターキング），かき（富有），なし（二十世紀），ぶどう（デラ）の10品目である。

調査時期は昭和46年10月19日から，11月2日にわたる期間である。

産地から市場までの諸費用は，中央卸売市場でせり売りの開始せられる前に展示せられてある荷物によって，その出荷主を調べ，これに対して市場までの諸費用，卸売価格，生産者手取などを記入する調査票を送って回答を求めた。また売価格は市内の小売店を，商業地域，住宅地域などを含め，且つ小売店の性格別比較もなし得られるように考慮して調査した。

まず，生産地から市場までの諸費用の調査アンケートの発信とその回答状況を示すと表1の如くである。（表1参照）。

表1 出荷者に対するアンケート発信数および回答数

種 類	発信数	回答数	県 別 内 容
だ い こ ん	20	5	愛知 3, 岐阜 1, 長野 1
は く さ い	21	12	長野 9, 岐阜 1, 群馬 1, 北海道 1
キャベツ	8	6	長野 5, 北海道 1
に ん じ ん	9	7	静岡 2, 北海道 2, 岐阜 1, 愛知 1, 長野 1
さ つ ま い も	10	5	愛知 3, 静岡 3
み か ん	34	15	静岡 7, 愛知 3, 三重 2, 和歌山 2, 愛媛 1
り ん ご	16	7	長野 4, 青森 2, 福島 1
か き	7	2	岐阜 2
な し	7	2	長野 2
ぶ ど う	8	1	長野 1
計	140	62	

回答率 44.3%

次に調査小売店の所在と小売店の性格別調査数を示すと、表2の如くである（表2参照）。

表3 調査小売店の性格と所在分布

性 格	店 数	所 在 の 区 名
スーパー・マーケット	13	南, 瑞穂, 中, 緑, 昭和
スーパー・ストア	2	中, 千種
デパート	5	中, 中村
公設小売市場	2	熱田, 瑞穂
私設小売市場	15	南, 瑞穂, 熱田, 緑, 昭和, 千種
専門 店	25	瑞穂, 熱田, 中, 中村, 昭和, 千種
八百 屋	10	南, 熱田, 中村, 昭和
合 計	72	

### 調査結果の概要

#### 1. 卸売価格を中心とする調査

卸売価格の成立までに必要とした流通費用、生産取得を比較するために、生産物1kg当りに換算したものを示せば次の如くである（表3参照）。

表3 1kg当り卸売価格、卸売段階までの流通費用生産者取得

種 類	産 地	卸売価格	卸売までの 流通費用	生 産 者 取 得	荷造単位量	出荷体制
だいこん	愛知, 刈谷市東境	19.60 <sup>円</sup>	5.38 <sup>円</sup>	14.22 <sup>円</sup>	5本束	個人
	〃 豊田市, 越戸	15.00	11.03	3.97	〃	〃
	〃 〃 勘八	13.50	11.03	2.47	〃	〃
	岐阜, 郡上郡高鷲	85.26	7.50	77.76	5kgテープ	共同
	長野, 小諸市, 袋	62.12	18.61	43.51	〃	〃
はくさい	岐阜, 高山市	33.33	16.03	17.30	15kgダン	共同
	長野, 塩尻市宗賀	59.77	17.64	42.13	〃	〃
	〃 〃 洗馬	60.00	21.12	38.88	〃	〃
	〃 木曾郡上松	66.67	21.34	45.33	〃	〃
	〃 東筑摩郡朝日	53.00	14.46	38.54	〃	〃
	〃 南佐久郡川上	46.67	16.22	30.45	〃	〃
	〃 上伊那郡辰野	56.67	19.89	36.78	〃	〃
	〃 〃 箕輪	75.00	22.95	52.05	10kgダン	〃
	〃 諏訪郡原	50.00	16.22	33.78	15kgダン	〃
	〃 〃 富士見	56.67	17.43	39.24	〃	〃
	群馬, 吾妻郡嬭恋	43.33	15.07	28.26	〃	〃
北海道, 有珠郡伊達	43.25	26.58	16.67	12kgダン	〃	
キャベツ	長野, 木曾郡木祖	40.00	17.15	22.85	15kgダン	共同
	〃 〃 上松	90.00	17.27	72.73	〃	〃
	〃 塩尻市洗馬	80.00	21.63	58.37	〃	〃
	〃 諏訪郡原	66.67	17.59	49.08	〃	〃
	〃 北佐久郡軽井沢	99.05	19.17	79.88	〃	〃
北海道, 旭川市永上	43.47	23.33	20.14	〃	〃	

種 類	産 地	卸売価格	卸売までの 流通費用	生 産 者 取 得	荷造単位量	出荷体制
にんじん	愛 知, 海部郡甚目寺	90.00 <sup>円</sup>	10.00 <sup>円</sup>	80.00 <sup>円</sup>	5 kg入カゴ	共同
	岐 阜, 郡上郡高鷲	83.00	17.76	65.24	10kgダン	〃
	長 野, 南佐久郡川上	80.00	29.95	50.05	〃	〃
	静 岡, 沼津市	88.80	16.67	72.13	〃	〃
	〃 〃 三枚橋	85.90	21.38	64.52	〃	〃
	北海道, 斜里市斜里	42.50	21.84	20.66	20kg 箱	〃
	〃 旭川市	50.00	16.90	33.10	〃	個人
さつまいも	名古屋市, 緑区大高	30.00	5.00	25.00	10kgダン	共同
	愛 知, 一宮市西大海道	50.00	7.50	42.50	〃	〃
	〃 東海市養父	25.00	5.30	19.70	〃	個人
	静 岡, 浜松市	41.80	12.21	29.59	〃	〃
	〃 榛原郡相良	43.90	8.78	35.12	〃	〃
み かん	愛 知, 知多郡美浜	106.67	10.07	96.60	15kgダン	共同
	〃 蒲郡市宮成	110.00	10.67	98.33	〃	〃
	〃 額田郡幸田	125.73	12.07	113.66	〃	〃
	三 重, 南牟婁郡御浜 (A)	120.00	14.00	106.00	〃	〃
	〃 〃 (B)	143.33	13.26	130.07	〃	〃
	静 岡, 引差郡引佐	133.33	20.33	113.00	〃	〃
	〃 〃 三ヶ日	133.33	14.43	118.90	〃	〃
	〃 〃 細江	131.60	27.61	103.99	〃	〃
	〃 浜松市都田	134.07	12.93	121.14	〃	〃
	〃 志太郡岡部	114.93	21.40	93.53	〃	〃
	〃 藤枝市青木	114.93	18.04	96.89	〃	〃
	〃 焼津市焼津	98.67	22.11	76.56	〃	〃
	和歌山, 田辺市上秋津	120.00	15.64	104.36	〃	〃
	〃 東牟婁郡那智勝浦	100.13	27.00	73.13	〃	〃
愛 媛, 北宇和郡吉田	120.60	17.90	102.70	〃	〃	
り っ ごと (スター キング)	長 野, 下高井郡小布施	106.25	20.88	85.37	16kgダン	共同
	〃 真島市真島	96.88	23.44	73.44	〃	〃
	〃 飯山市木島	87.50	22.75	64.75	〃	〃
	〃 松本市松本平	96.88	22.21	74.67	〃	〃
	福 島, 福島市笹木野	112.50	24.25	88.25	〃	〃
	青 森, 黒石市黒石	111.11	29.61	81.50	18kg木箱	〃
	〃 五所川原市	111.11	18.40	92.71	〃	個人
か き (富 有)	岐 阜, 海津郡南濃	106.67	13.75	92.92	15kgダン	共同
	〃 本巣郡真正	106.67	14.33	92.34	〃	〃
ぶ っ とう (デ ラ)	長 野, 松本市松本平	100.00	32.53	67.47	4 kgダン	共同
な し (二十世紀)	長 野, 飯田市	106.67	26.20	80.47	15kgダン	共同
	〃 下伊那郡松川	106.67	23.23	83.44	〃	〃

1. 荷造単位量のダンとあるはダンポール箱入りを示す

表3からさらに品目別一括したとりまとめをすると、表4の如くなる(表4)。

表4 1kg当り卸売価格と流通費用、生産者手取 (実数)

種 類	卸売価格	流通費用	生産者取得	調 査 数
だ い こ ん	39.10 <sup>円</sup>	10.71 <sup>円</sup>	28.39 <sup>円</sup>	5
は く さ い	78.70	18.75	59.95	12
キ ャ ベ ッ	69.87	19.36	50.51	6
に ん じ ん	74.31	19.21	55.10	7
さ つ ま い も	38.14	7.76	30.38	5
み か ん	120.49	17.23	103.26	15
り ん ご	103.18	23.08	80.10	7
か き	106.67	14.04	92.63	2
ぶ ど う	100.00	32.53	67.47	1
な し	106.67	24.72	89.95	1

注 1. ここに流通費用というのは、出荷費用+卸売人手数料である  
 2. 各産地からの回答をそれぞれ1kg当りに計算し、これを種類毎に平均したものである

表4は各品目1kg当りの卸売価格、卸売市場までの諸費用、生産者手取額であるが、これをそれぞれの荷造単位量について計算し、卸売価格に対する割合を示すと表5の如くである(表5参照)。

表5 青果物流通費用の諸指標 (1)

1. 卸売価格に対する流通費用および生産者取得の割合

A 野 菜

(卸売価格=100)%

	だいこん	はくさい	キャベツ	にんじん	さつまいも	平 均
運 賃	19.7	12.3	12.8	8.8	11.3	13.0
荷 造 費	26.6	15.6	14.0	15.1	8.3	15.9
検 査 料	0.1	0.1	0.1	0.0	1.5	0.4
組 合 手 数 料	1.4	4.9	4.2	2.7	1.1	2.9
その他の経費	0.8	0.3	0.3	0.5	0.3	0.4
以 上 小 計	48.6	33.2	31.4	27.1	22.7	32.6
卸売人手数料	8.2	8.4	8.3	8.4	8.2	8.3
生 産 者 取 得	43.2	58.3	60.3	64.5	69.1	58.1

B 果 物

	みかん	りっご	か き	な し	ぶ どう	平 均
運 賃	2.8	6.8	1.4	3.2	8.0	4.4
荷 造 費	16.2	13.2	10.8	15.9	20.6	15.3
検 査 料	0.3	0.1	—	0.2	0.2	0.2
組 合 手 数 料	3.4	2.3	1.0	3.3	3.2	2.6
その他の経費	0.9	0.1	—	0.5	0.5	0.4
以 上 小 計	23.6	22.5	13.2	23.1	32.5	22.9
卸売人手数料	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
生 産 者 取 得	60.4	70.5	79.8	69.9	60.5	70.1

## 2. 小売価格を中心とする調査

小売価格を中心とする調査および集計の仕方は第Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ報で述べたところであるから，ここでは省略し，結果のみを示そう。表6はこれである（表6参照）。

表6 青果物流通費用の諸指標 (2)

### 2. 小売価格に対する流通費用の割合

#### A 野菜

(小売価格=100) %

	だいこん	はくさい	キャベツ	にんじん	さつまいも	平均	
1. 荷造単位量(kg)	6	15	15	10	10		
2. 卸売価格	66.2	54.0	71.6	67.5	45.1	60.9	
3. 出荷費用	10.4	18.6	14.7	23.9	9.0	15.3	
4. マージン	卸売人(イ)	5.4	4.5	6.0	5.7	3.7	5.1
	仲卸人(ロ)	6.6	5.4	7.3	6.8	4.5	6.1
	小売商(ハ)	27.1	40.6	20.2	25.7	50.4	32.8
5. 流通費用計 (3+4)	49.6	69.1	48.2	62.1	67.6	59.3	
6. 生産者取得 {2-(3+イ)}	50.4	30.9	51.8	37.9	32.4	40.7	

#### B 果物

	みかん	りんご	かき	なし	ぶどう	平均	
1. 荷造単位量(kg)	15	16	15	15	4		
2. 卸売価格	57.8	54.8	69.1	56.1	45.0	56.6	
3. 出荷費用	8.9	11.9	7.9	15.5	5.3	9.9	
4. マージン	卸売人(イ)	4.0	3.8	4.8	3.9	3.1	3.8
	仲卸人(ロ)	5.8	5.5	6.9	5.6	4.5	5.7
	小売商(ハ)	36.4	39.7	23.9	38.3	50.6	37.8
5. 流通費用計 (3+4)	55.1	60.9	43.6	63.3	63.5	57.2	
6. 生産者取得 {2-(3+イ)}	44.9	39.1	56.4	36.7	36.5	42.8	

次に小売店の性格別の小売価格の比較を試みよう。

名古屋市における青果物の小売店には普通の個人商店の八百屋，果物専門店の外，公設市場，私設市場の八百屋，果物店があり，さらにスーパー・マーケット，スーパー・ストアやデパートがある。これら小売店の性格の相異によって，青果物の小売価格は一般に差異があるかどうか，あればそれはどの程度であるかを知る目的で，今回はこの視点からの集計を試みた。その結果を示すと，表8の如くである。なお参考までに49年の夏期の青果物についての調査結果を掲げておくこととする（表7参照）。

表7 小売店の性格別小売価格の比較 (公設市場=100)  
A 46年秋期調査  
1) 野菜

	だいこん	はくさい	キャベツ	にんじん	さつまいも	平均
私設市場	110.3	145.2	111.1	8.11	151.3	120.0
スーパー・マーケット	97.0	169.4	115.3	102.5	106.3	118.1
スーパー・ストア	129.2	103.4	116.7	95.5	93.8	106.8
デパート	167.5	196.9	139.5	143.6	211.3	171.8
八百屋	99.2	153.2	110.2	79.5	103.8	109.2

2) 果物

	みかん	りんご	かき	なし	ぶどう	平均
私設市場	90.3	81.6	131.8	96.6	70.4	74.0
スーパー・マーケット	78.5	79.1	98.2	79.0	103.2	87.6
スーパー・ストア	128.4	61.1	141.2	94.0	104.1	105.8
デパート	118.1	186.0	230.2	165.5	174.3	174.8
八百屋	49.7	86.6	91.0	88.5	77.6	78.7
専門店	81.2	104.8	99.0	97.5	136.3	103.8

B 46年夏期調査  
1) 野菜

	なす	きゅうり	たまねぎ	ばれいしょ	平均
私設市場	66.9	93.0	100.8	98.6	89.8
スーパー・マーケット	75.0	89.1	106.5	93.7	91.1
スーパー・ストア	48.0	66.0	84.8	85.9	71.1
デパート	107.9	110.0	118.6	136.2	118.2
八百屋	71.0	92.5	99.0	86.6	87.3

2) 果物

	とまと	すいか	もも	ブリンズメロン	平均
私設市場	92.4	117.5	86.7	102.2	98.4
スーパー・マーケット	96.9	120.3	83.2	104.6	101.2
スーパー・ストア	81.8	130.0	62.0	94.4	92.1
デパート	128.7	282.7	112.6	168.7	173.2
八百屋	118.3	125.4	73.7	90.5	102.0
専門店	142.2	165.3	99.2	145.9	138.2

考 察

以上の調査結果から考えられる主な点をあげると、次の如くである。

1. 卸売段階までの流通費用をみよう。

まず注意すべきは、野菜類の出荷地は、前年(45年)に比べると市場遠隔地が相当含まれているということである。従って市場への出荷費用、生産者取得は、前年に比べると一層平均的

性格を帯びており、それだけ普遍性をもち得ると考えられる。果物の中では、みかん、りんごについて同様なことがいえる。こうした事情から、昭和45年度と46年度の調査結果とを併せ考察することにより、流通費用、生産者取得などを、より一層平均的な傾向をつかむことができると考える。この間の事情を知るために表8を作成した。

表8 卸売価格の変動と出荷費用率および生産者取得  
(45年と46年の比較) (卸売価格=100)

	卸売価格 (円)		出荷費用率 (%)			生産者取得率 (%)		
	45	46	45	46	平均	45	46	平均
だいこん	20.70	39.10	31.9	48.6	40.3	60.1	43.2	51.7
はくさい	34.80	78.70	18.2	33.2	25.7	73.8	58.3	66.1
キャベツ	95.00	69.87	3.6	31.4	17.5	88.4	60.3	74.4
にんじん	56.30	74.31	10.4	27.1	18.8	81.1	64.5	72.8
さつ まいも	43.80	34.14	15.4	22.7	19.1	76.3	69.1	72.5
平均	50.12	60.02	16.1	32.6	24.3	75.9	59.1	67.5
みかん	92.90	120.49	13.7	23.6	18.7	79.3	69.4	74.9
りんご	91.80	103.18	26.0	22.5	24.3	67.0	70.5	68.8
かき	90.40	106.67	14.9	13.2	14.1	78.1	79.8	79.0
なし	84.70	106.67	17.4	23.1	20.3	75.6	69.9	72.8
ぶどう	—	100.0	—	32.5	32.5	—	60.5	60.5
平均	89.95	109.75	18.0	22.9 (20.6)	22.0 (19.4)	75.0	71.9 (72.4)	71.2 (73.2)

注 卸売価格は1kg当りを示す  
出荷費用率、生産者取得率は卸売価格に対する割合である  
括弧内はぶどうを除く数字である

この表において45、46年における各調査品目毎の卸売価格、卸売価格に対する出荷費用、生産者取得の状態を比較した。これによると、品目により出荷費用に著しい差があるが(例、キャベツ、さつまいも、はくさい、みかん)、これは市場への距離の大小と各品目の内在価格(intrinsic value)の大小によるものであることは説明するまでもない。

次に生産取得率をみると、近郊産地からの出荷が多かったものと、そのものの内在価値の大きいものは、概ねそれが高くなっていることがわかる。

2. 小売価格を中心とする調査結果についても、前述の卸売価格の場合と同様に、資料の性格上45年度と46年度とは相補的關係にあるから、両者を併せ観察することにより一層一般的な結論に接近し得られる。このような事情から、表9を作成した(表9参照)。

これによると、両年における調査対象となった青果物の流通費用は、概ね60%程度で、そのうち市場までの出荷費用は14~5%であるが、野菜は果物よりもやや多い。

卸売人手数料、仲買人手数料は、定率従価手数料であるために、内在的価値の小さい野菜の方が、果物よりもやや高率を示しているがこれは当然の傾向というべきである。

小売商取得率は、野菜よりも、果物がやや多いが、概ね、小売価格の35~38%程度となっている。また生産者取得率は野菜、果物ともに38%程度となっている。これらの数値は、概ね客観的にみて、妥当なものとして判断せられる。

表9 流通費用，生産者取得率の45年と46年の比較

(小売価格=100) %

		45	46	平均	
野菜	1. 出荷費用	11.5	15.3	14.9	
	2. マージン	卸売人	4.5	5.1	4.8
		仲卸人	5.4	6.1	5.8
		小売商	38.8	32.8	32.8
3. 以上計	63.2	59.3	61.3		
4. 生産者取得	36.8	40.7	38.7		
果物	1. 出荷費用	17.2	9.9	13.6	
	2. マージン	卸売人	3.9	3.8	3.9
		仲卸人	5.6	5.7	5.6
		小売商	38.2	37.8	38.0
3. 以上計	64.9	57.2	61.1		
4. 生産者取得	35.1	42.8	38.9		

3. 次に昭和45年と46年とを比べると，表10にみる如く，卸売価格は上昇したが（野菜の平均19.8%果物22.0%），この上昇によって，生産者取得は，小売価格に対する比率において，野菜 3.9%，果物 7.6%上昇した。従って当然のことながら出荷費用の割合は低下した。すなわち昭和45年に近郊産地からの出荷が多かったキャベツ，にんじんを除くと，出荷率は45年の18.6%から46年の12.7%へと低下した。

表10 卸売価格の変動と流通費用率および生産者取得 (小売価格に対する割合%)

	45年=100 とする46年		出荷費用		小売商取得		その他共 流通費用計		生産者取得	
	卸 価 格	小 売 格	45	46	45	46	45	46	45	46
だいこん	188.9	146.0	20.8	10.4	38.8	27.1	69.6	49.6	30.4	50.4
はくさい	226.1	112.7	19.5	18.6	49.6	40.6	77.3	69.1	22.7	30.9
キャベツ	73.5	96.0	7.9	14.7	28.4	20.2	48.4	48.2	52.0	51.8
にんじん	132.0	98.5	8.8	23.9	42.8	25.7	61.0	62.1	39.0	37.9
さつまいも	87.1	133.5	15.4	9.0	33.7	50.4	60.0	67.6	40.0	32.4
平均	119.8	105.5	14.5	15.3	38.8	32.8	63.2	59.3	36.8	40.7
みかん	129.7	119.0	15.5	8.9	28.9	36.4	55.4	55.1	44.6	44.9
りんご	113.5	136.7	22.4	11.9	28.4	39.7	61.9	60.9	38.1	39.1
かき	118.0	80.4	11.0	7.9	55.0	23.9	73.0	43.6	27.0	56.4
なし	125.9	101.8	19.7	15.5	40.6	38.3	69.4	63.3	30.6	36.7
平均	122.0	105.6	17.2	9.9	38.2	37.8	64.9	57.3	35.1	42.7

4. 小売商の取得率は平均的には野菜6.0%，果物で0.4%低下している。しかし実額では1kg当り，野菜で5円，果物3円で，小売価格の数%以下に過ぎない。

5. こうした事情を反映し，流通費用全体についてみると，野菜，果物とも，平均的には46年は45年に比べて低下した（野菜 3.9%，果物 7.6%の減少をみた）。

6. 3, 4に述べたように，卸売価格は，昭和45年に比べ46年は野菜は19.8%，果物22.0%上昇した。このために生産者の取得率は上昇したが，小売商の取得率（マージン率）は減少した



(対前年の減少率は野菜6.0%果物0.4%)。

7. しかし卸売人および仲卸人の取得率は従価定率制であるために、卸売価格の上昇に伴って増大する。しかし、小売商の取得率は卸売価格の上昇に比例して増加しない場合があり得る。何故なら卸売価格の上昇率に比例して、小売価格は上昇しないからである(短期的には)。

8. このように卸売価格の上昇によって、直接利益を受けるのは生産者、卸売人、仲卸人であり、小売商は必ずしもそうでない。

この点については、すでに第Ⅲ報において問題を提起したところであるが(名女大紀要第18号, 272~273頁), ここでは、今回の調査結果にも、同様の傾向がみられることを指摘するに止め、さらに次回の調査によって、一層の検討を進めることとする。

9. 次に小売店の性格別にみた青果物の小売価格をみると、公設小売市場よりも私設の小売市場の方が、概して野菜、果物ともに安価であることが注目せられる。

デパートの高価なことは、周知のところであるが、これに次いで専門店が高価である。これは恐らく品質差がある程度反映しているものであろう。

ここに示した小売店の性格別にみた小売価格の問題は、資料の関係で、なお一般的結論を下すことをさけ、次の機会にゆずることとする。

稿を終るにのぞんで本調査のために御協力下さった名古屋中央卸売市場業務課調査係、アンケートに対して回答をよせられた出荷関係者およびゼミの学生安藤三枝子、今泉みな子、今井恵里子、古沢伸枝の諸姉に対して厚く感謝の意を表わしておく (1972.8.5)

#### 参 考 文 献

- 1) 拙稿：1971：青果物の流通費用に関する調査研究 I 名女大女子大学紀要 17 125~133.
- 2) 拙稿：1972：同, II, 同紀要 18, 253~261.
- 3) 拙稿：1972：同, III, 同紀要 18, 262~274.
- 4) 拙稿：1978 青果小売価格に関する調査研究 A5 87頁.